

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長 新年挨拶

フェリーチャンノヴァーロン
皆様あけましておめでとう
ございます。
令和四年 壬寅 の新年祭
に皆様と共に清々しく参拝さ
せて頂きました。

昨年はコロナウイルス感染
者が愛知県で多発し春・秋の
大祭には講師派遣も諦めなけ
ればならない状態でした。

その中でも秋の大祭で講師
として予定していました小林
龍雄本部長からはビデオメッ
セージを頂きました。

コロナの状況下で名古屋分
苑にて開催した祭式講習会に
は東海教区の方が参加して頂
き延べ十六人の参加者となり
ました。

また瑞生大祭での宣伝使拜
命、み手代下附もコロナの影
響で延期になり、十月三十日
に東海教区の該当者全員が名

古屋分苑に来苑され無事に、
み手代下附、宣伝使拜命授与
式が終了いたしました。

これらの行事は皆様方にさ
さえて頂きその結果、東海教
区の一連の行事を全て無事終
える事ができました。

今年度は早速一月二十二・
二十三日と名古屋分苑にて東
海教区の方々を対象
に教本三級
認定講習会
を開催いた
します。

現在大本では信徒の方々は
宣伝使の御用に努めるように
指導されておられます。宣伝
使になるには、まず大道場修
行終了証・祭式認定が必須で
す。



宣伝使の昇格には教本認定
が必要になります。教本講習
会は皆様方と講師とが一緒に
勉強をされますので楽しく行

えます。
祭式については足・膝が悪
い方は椅子でも立つてでもで
きます。受講される方の気持
ちで指導させて頂きますので
遠慮なく申し出て下さい。

本部の基本方針でもある祭
式の取得と家庭のまつりにつ
ながります。
大本開教百三十年目になり
節分大祭以降より月次祭祝詞
の文面が変わります。祝詞に
ついては一月一日に発売され
ますのでしばらくお待ち下さ
い。

人型活動がひと段落したら
節分大祭以降より行事予定に
記載していない行事を進めて
いきたいと思えます。
近年八事霊園での名古屋分
苑が管理している場所の手入
れ・可児市の山手入れ・海津
市の山でのガレキ撤去等多く
の作業があります。

それより分苑に参拝され気
持ちよく帰っていただいて又
お参りに行こうという雰囲気
を創って行きたいと思えます。
そのためには、どうか一年の

計は元旦にありという諺にあ
りやかり皆様の意見に傾聴して
実行してまいります。
本日のご参拝ありがとうございます。
ございました。

行事報告

● 月始祭

十二月四日（土）
参拝者 十六名
齋主 見田すみ子
祭員 畠山 茂
進行 青山 将士



● 月次祭

十二月十九日（日）
参拝者 三十八名
齋主 瓜生 秀明
祭員 青山 将士
祭員 畠山 茂
伶人 飯田 直美
伶人 長谷川美枝
伶人 岡田 幸子
進行 近藤 哲史

今月より、十分なコロナ感染
対策を行い直会が再開された。
その後、後期機関長会議が開
催され、令和四年度の教団方
針・人類愛善会活動方針など
について高嶋分苑長より説明
があった。分苑の葬儀準備が
スムーズに進められるよう葬儀
連絡網・役割分担についても検
討された。



言葉の力 その②

特任宣伝使 妹尾 正治

分苑へ向かう途中に思わず目を引く看板があります、そこには『私がわたしになれる場所 ○○寺』と書かれています。今は自分をさらけ出してはいけない時代なの！と看板を見て不思議な感覚になりました。確かに「本音」だけでは世の中渡りづらい事は分かります。いつの時代も「建て前と本音」の狭間を上手に渡る人は出世が出来て、不器用な人は貧乏くじを引くこととなります。しかし生まれ持った性分は簡単に変える事は出来ません。私も貧乏くじを引く側の人間です、でも○○寺へ行かなくても居場所は有ります、なぜなら私には大本信仰が有り、多くの書物から生きる知恵と力を得ているからです。

ここでノートルダム清心学園の理事長だった渡辺和子さんの著書から、力を得た言葉を紹介します、大本のみ教えプラスアルファーとして参考にして下さい。

『主よ、変えられないものを受け容れる心の静けさと、変えられるものを変える勇氣と、その両者を見分ける英知を我に与え給え』そしてもう一言『置かれた場所で咲きなさい』自身を飾れば飾るほど苦悩は増えてきます、今の自分そのものを受け入れる・過去の栄光も、地位も、名誉も無い、生まれたままの自分になれば「私がわたしになれる場所」が見つかるのではないでしょうか。ストレスが有って当たり前前の時代、皆さんも力を得られる言葉を探してみてください。

参考図書 「置かれた場所で咲きなさい」「幸せはあなたの心が決める」

発行所 株式会社 P H P 研究所 渡辺和子 著

名古屋分苑 令和四年度 予算

昨年十一月二十八日に開催された総代会にて左記のように予算が承認されました。

令和4年度 収支予算書				
		宗教法人 大本名古屋分苑		
自	令和4年01月01日			
至	令和4年12月31日			令和3年11月28日
収入の部				
科目	令和3年度予算	令和3年度見込	令和4年度予算	増減
玉串料	2,320,000	2,496,600	2,520,000	200,000
本部交付金	800,000	792,031	800,000	0
分苑維持献金	1,400,000	1,448,560	1,400,000	0
雑収入	10,000	8,131	10,000	0
合計	4,530,000	4,745,322	4,730,000	200,000
支出の部				
科目	令和3年度予算	令和3年度見込	令和4年度予算	増減
祭務費	880,000	393,390	1,030,000	150,000
玉串費	300,000	243,152	300,000	0
教化費	830,000	197,079	880,000	50,000
総務費	1,430,000	1,231,409	1,430,000	0
維持費	760,000	843,151	760,000	0
厚生費	330,000	154,250	330,000	0
小計	4,530,000	3,062,431	4,730,000	200,000
当期余剰金	0	1,682,891	0	
合計	4,530,000	4,745,322	4,730,000	200,000

行事予定

- 一月十六日(日) 月次祭 午前十時半より
- 一月十六日(日) より 人型受付 十時～十六時
- 一月二十二日(土) 二十三日(日) 教本三級 認定講習会
- 二月三日(木) 節分大祭 遥拝祭 午後三時より
- 二月五日(土) 月始祭 午後一時半より

お知らせ

人型受付のため、次の日程は日直を毎日行います。

一月二十五日(火)～

二月三日(木)

